

【6】春日地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい春日のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成18年10月28日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは春日地区にちなんだクイズや、大きな地区の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う春日地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- お店や病院が多い
- 交通の便が良い
- 静かな環境

【気になるところ】

- 狭い道や坂道が多い
- 交通量が多く歩行者が危険
- ごみのポイ捨てなどマナーが悪い

\\ 皆さんも春日地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう! //



問1 春日神社の鳥居はいつ建てられたでしょうか？

- ①大正14年 ②昭和9年 ③昭和17年

問2 春日地区の高齢化率はどれくらいでしょうか？(平成18年6月時点)

- ①19% ②23% ③29%

問3 山の田水源地の貯水量はどれくらいでしょうか？

- ①約55万トン ②約103万トン ③約180万トン

※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！

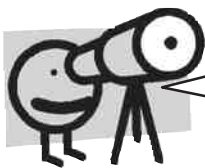
～ 小さなことでも地域のために ～

日 程：平成18年11月25日（土）

内 容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問 題】

ひとり暮らし高齢者の生活が心配



【“みんなにできること”の意見】

- 周囲の声かけなどで助け合う
- 子ども会活動で手紙のプレゼントを行う

参加した皆さんの感想から

◎地域の改善しなければならないところがわかった。

◎住みよいまちづくりのために、全員参加で協力しなければならないと思った。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、春日地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。



この“お茶の間トーク”での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！